第26回 市政e-モニターアンケート
「家庭系ごみの有料化開始及び戸別収集について」 最終結果

【テーマ】家庭系ごみの有料化開始及び戸別収集について

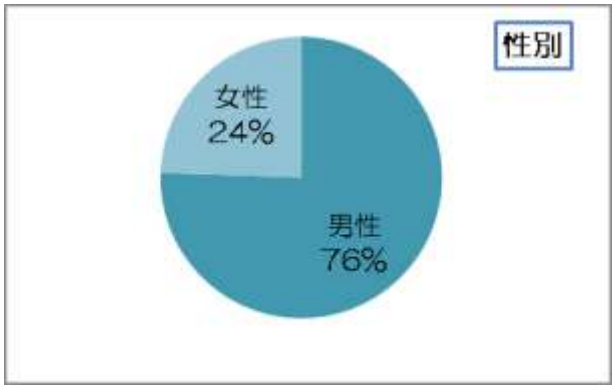
【目　的】鎌倉市では、ごみの更なる減量を進め、循環型社会を構築するため、その一環として、家庭系ごみの戸別収集・有料化の同時実施を目指して取り組んできましたが、戸別収集については市民の皆様からのご意見もあり、先送りすることとし、有料化を平成27年4月1日から開始しました。

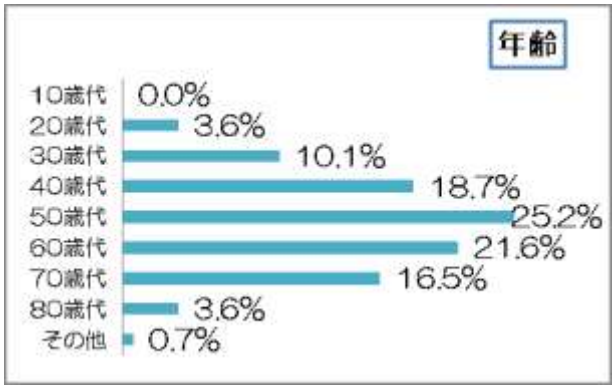
今回のアンケートでは、家庭系ごみの有料化に伴い、市民の皆様のごみに対する意識や行動の変化に対するご意見、今後実施の有無の判断をしていく戸別収集についてのご意見をお聞きするもので、皆様のご協力をお願いします。

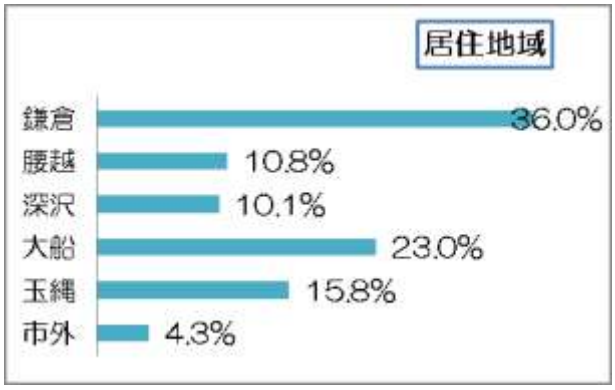
※戸別収集とは、これまでのクリーンステーション（ごみ置き場）収集ではなく、各家庭のごみを道路に面した敷地内に出していただき、建物ごとに収集する方法です。

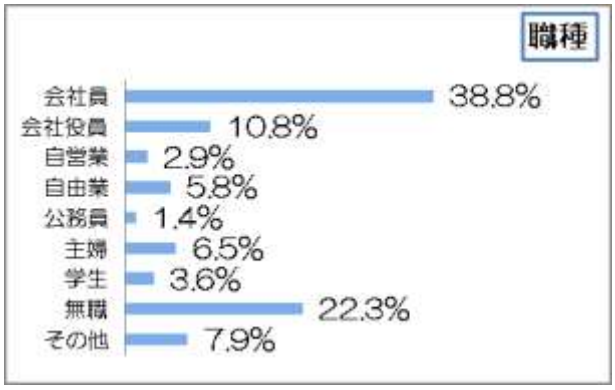
◆アンケート送信日　：　平成27年7月1日（水）
◆実施期間　：　平成27年7月1日（水）～平成２７年7月15日（水）
◆送信者数　：　３３５名（着信者数　３３１名）
◆回答者数　：　139名
◆回答率(対着信者数)：　４２．０％（前回より　＋５．８ポイント）

【今回の回答者の基本属性】





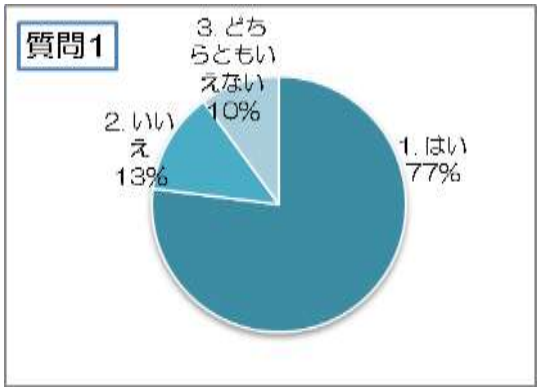




【有料化について】

●質問1　ごみの有料化実施後、ごみの分け方や出し方を以前より注意するようになりましたか？

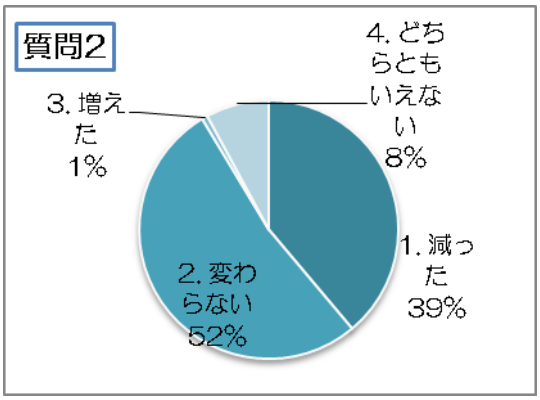
1. はい	107 名
2. いいえ	18 名
3. どちらともいえない	14 名



【資源循環課から】
　有料化を契機に多くの方が、ごみの分け方や出し方に以前より注意していただきありがとうございます。
　有料化により新たなご負担いただくことになりましたが、市民の皆様のご協力によりごみの減量が進んでいます。

●質問2　ごみの有料化実施後、ご自身の出されるごみの量は変化しましたか？

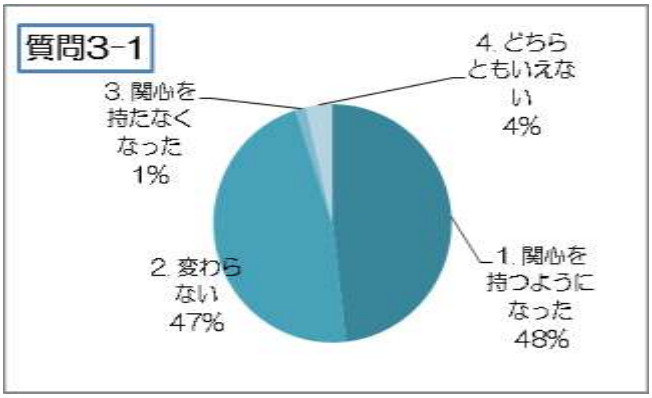
1. 減った	54 名
2. 変わらない	73 名
3. 増えた	1 名
4. どちらともいえない	11 名



【資源循環課から】
　出されるごみの量が減ったという方が４割近くいらっしゃり、有料化によりごみの減量を実感されていることが分かりました。

●質問3-1　ごみの有料化実施による行動の変化や影響について、お答えください。
以前より、ごみの減量やリサイクル、環境問題に関心を持つようになりましたか？

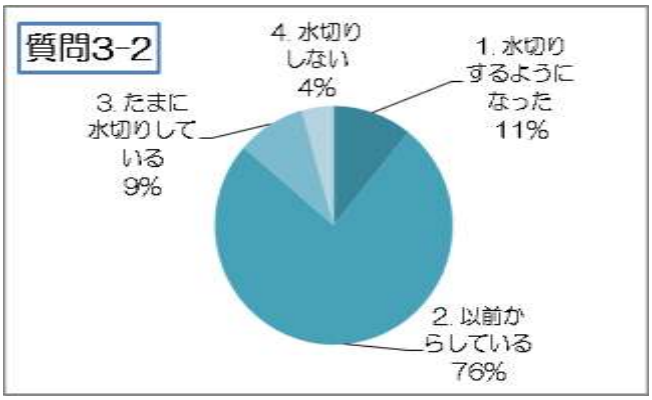
1. 関心を持つようになった	67 名
2. 変わらない	65 名
3. 関心を持たなくなった	2 名
4. どちらともいえない	5 名



【資源循環課から】
有料化によりごみの減量やリサイクル、環境問題に関心を持つようになった方が約５割いらっしゃり、有料化による効果が表れているものと考えています。

●質問3-2　生ごみの水切りをするようになりましたか？

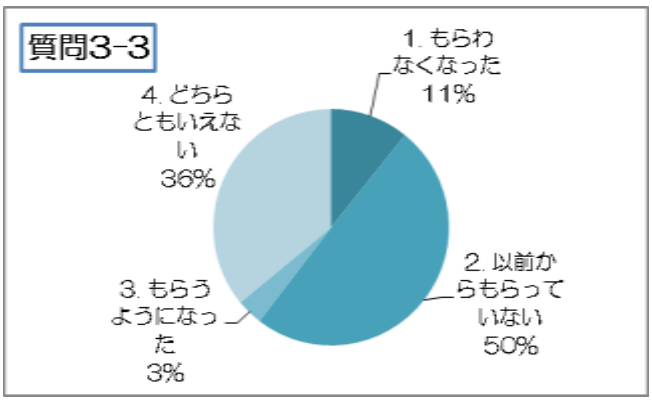
1. 水切りするようになった	15 名
2. 以前からしている	105 名
3. たまに水切りしている	13 名
4. 水切りしない	6 名



【資源循環課から】
「たまに水切りしている」を含めてほとんどの方が水切りをしていただいており、生ごみの水切りが浸透していることが分かりました。

●質問3-3　買い物袋を持参し、レジ袋をもらわなくなりましたか？

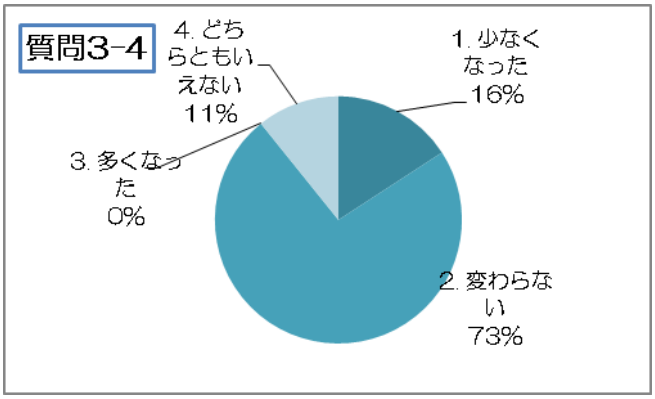
1. もらわなくなった	15
2. 以前からもらっていない	69
3. もらうようになった	5
4. どちらともいえない	50



【資源循環課から】
　有料化を契機にレジ袋をもらわなくなった方もいますが、以前からもらっていない方が５割いらっしゃり、レジ袋の削減が進んでいます。レジ袋の削減に取り組んでいる店舗も多くあり、今後とも取組の輪を広げていきたいと考えています。

●質問3-4　手付かずの食品を捨てたり、作りすぎによる食べ残しが少なくなりましたか？

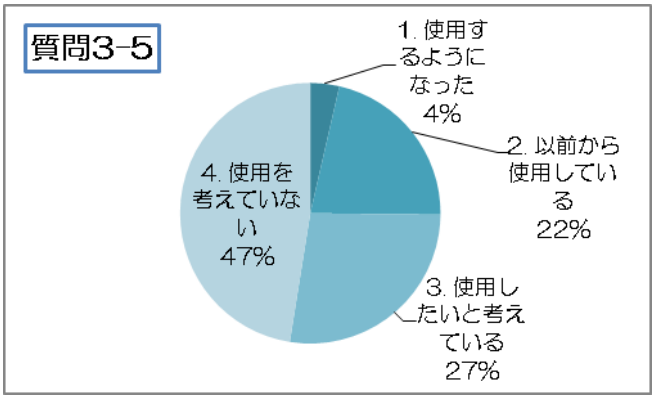
1. 少なくなった	22 名
2. 変わらない	102 名
3. 多くなった	0 名
4. どちらともいえない	15 名



【資源循環課から】
　本市で行った燃やすごみの組成調査（平成２５年度実施）においても食品ロス（手つかずの食品の廃棄や作り過ぎなどによる食品の廃棄）が約５５０トンあるとの結果が出ています。
　国においても食品ロスに力を入れており、本市でも食品ロスの啓発に力を入れていきたいと考えています。

●質問3-5　生ごみ処理機の使用について

1. 使用するようになった	5 名
2. 以前から使用している	30 名
3. 使用したいと考えている	38 名
4. 使用を考えていない	66 名



【資源循環課から】
　生ごみは燃やすごみの重量で４０％以上あり、ご家庭で生ごみを処理いただければ大きな燃やすごみの削減になります。今回の調査で生ごみ処理機を使用したいと考えている方が２７％いらっしゃり、その方々へ生ごみ処理機の助成制度や使用方法等の周知を行い、実際に使用していただける取り組みを進めていきたいと考えています。

　有料化を契機に取り組んでいただいた方もいましたが、多くの方が有料化実施前からごみ減量のための取組を実施していただいていることが分かりました。燃やすごみの量は６月までの３か月間で昨年の同月に比べて１７．９％削減していますが、最近では若干削減率が減っています。ごみは市民一人一人に関わる重要な問題であり、ごみの減量は市民の皆さんのご理解とご協力が不可欠であることから、様々な機会を捉えてごみの減量方法等の周知を行っていく必要があると考えています。

●質問3-6　上記以外で、ごみの減量のために取り組んでいることはありますか？ 取り組んでいることを記入してください。

※ 主な意見をまとめています（順不同）

余計なものを購入しない・選ばない（容器・包装などを含め）
ごみになりそうな不要なもの、余計なもの買わない。なるべくごみを出さない、持ち込まないよう努める。
買い物をするときにごみの出ない(少ない)物を選ぶようにしている、買う前にごみにならないか考える。
容器入りのものは、なるべく買わずに詰め替え用を買うなど。
余計な包装は断り、過剰包装を出来るだけ控えたものを購入するようにしている。
魚を１匹丸々買う事が少なくなった。
トレーに入った肉はなるべく買わない。ペットボトルの飲料もなるべく買わない。
肉は肉屋さんで購入するようにしているので、容器ごみが少なくて済む。
リデュースは余分のものを買わないこと。期限切れ防止にもつながる。

分別を徹底
燃やすごみから資源ごみの徹底抽出。

燃えるごみをできるだけ少なくし、資源ごみに分別するようにする。
「この位はまーいいか！」の気持ちが激減しました。飴包み紙プラー個・ミックスペーパーー枚でもきちんと分別するようになりました。
できるだけ資源ごみにしている。
紙ごみなどをより厳密に分別するようになった。
スーパー等での簡易包装品購入拡大。
食品の包装材を購入店舗で捨てる。

生ごみ処理機や庭などにまき、肥料とする
生ごみ処理機の利用。
我が家の場合2年前に導入した生ごみ処理機「ベランダでキエーロ」が排出量の減少という点で、効果大であったと言えます。
庭でコンポスト化。
生ごみは、キエーロ、庭へ埋めるなどして出ない。
ミミズコンポスト。
コーヒーのカスや茶がらも庭にまいている。

有料化以前から気をつけているので、変わらない
有料化以前より排出ごみ削減のため、生ごみは自宅内敷地に埋めて肥料としている。
有料化以前からごみの分別と減量に努めてきたつもりです。
ごみの有料化実施以前から、ごみの量を増やさないようにしていた。 使い捨て製品の購入を減らす事や、大きい買い物をする時も捨てる時の事を考えて購入する等。

その他
マイバッグ、マイパック、水筒を持参するようになった。
外出時は必ずビニール袋（軽くてかさ張らないので）をカバン等の片隅に入れて持ち歩く習慣になった。
有料袋は可能な限り「小型」にするよう心掛けている。
プラスチックは小さく砕いてから捨てる。
体積を小さくする。
なるべく細かくしたりして捨てるようにしています。
食品を残さない。
野菜のくずを集めて、ベジブロスにして料理に再利用しています。
お茶の葉などは乾燥させてから捨てる。
印刷済みコピー用紙の裏面使用、広告チラシを雑巾代わりにしての清掃、生鮮食品用の包装容器を家庭菜園の植木鉢に利用、ペットの糞尿の堆肥利用、古着の雑巾使用。
リサイクルショップに持ち込むことで、今泉クリーンセンターへの持ち込みが減りました。
家電製品を廃棄する際は、出来るだけリサイクルショップに買い取りを依頼しています。
捨てる前にリユース・リサイクルを含めて最善の方法かを考えるようにしている。
集積場所（マンション）のごみを収集人が持って行き易く、種類ごと分けている。

有料化へのご意見
意見を述べる欄がないので、ここで一言。 有料化には基本的には賛成です。ただし有料化によって得た収入の使い道については、明確に公表をお願いします。使途について、検討も含めて住民の意見を聞く機会を持って下さい。
書くところがないので。 曜日に関係なく、クリーンステーションに纏まった生ごみを廃棄する人がいる。全ての種別を戸別とし、クリーンステーションを廃止し、定着までは、深夜・早朝の監視を行うなどしていく必要がある。

戸別収集へのご意見
Q4 以降へのコメント。戸別収集は費用負担に耐えられないから反対。モデル地区の実験は予定どおり終了すべき。有

料化収入の使途を明確にするべき。清掃ごみは性善説に基いているが一考を要する。
自ら出すものであり、「プライバシー」の配慮は行き過ぎと思う。これは、間違った分別や、極端にいえば犯罪特定を防ぐための廃棄の「許容」に繋がる。「特定されるかもしれない」を前提に、政策推進をすべきである。

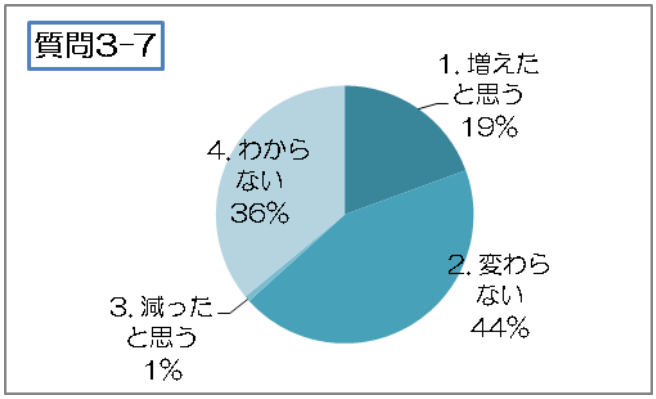
その他のご意見
川への不法投棄が増えている。
有料化によるごみの削減効果は、いずれ頭打ちになる。
有料化によるごみの削減について、燃やすごみは減っても、無料の食品包装材が増加していると感じる。
有料袋を買わないといけないので、カラービニール袋が使えなくなり、逆にエコではなくなった。シールを貼って対応するようにして欲しい。利用出来る物が逆に利用出来なくなった。
以前から分別と省ごみには家族中で力を入れてきました。そして鎌倉市は大変良い成績を収めました。これ以上ごみの取扱いを窮屈にしない方が良いのではないでしょうか。市民は一生懸命ごみについて考えて取り扱っています。
以前よりごみ削減には注意している。過剰な梱包など自身ではどうしようもないことがある。社会的な啓もうが必要と感じます。
有料化は寧ろ精神的効果に留まるものと言えます。 一つ担当部門に指摘したいのは、ごみ問題が市民全体の一大関心事であるにも拘わらず、今回の一連の施策実施の効果推移についてフィードバックがない（或いは積極的な）という点です。フィードバックにより市民の関心を継続的に維持することができますし、市民からのアイデアを吸い上げることもできると思います。是非ご検討ください。
以前から問題意識を持って取り組んでいるので変わらないが、クリーンステーション管理は以前より重要視している(心無い捨て方が目立ったため)。 ごみ収集者がカラス除けネットをほっぽらかすように置いていくのには疑問がある。有料化で負担増なのに景観までダメになるのは問題、収集者の強い指導をお願いいたします。
2002 年度に地域の自治会長を拝命して以来、ごみ問題に関心を持ち、取り組んでいる。 また、2003年より、市政モニターをやり、近隣のごみ処理場の見学会など経験。 なお、ごみ減量問題のポイントは、事業系ごみの減少が課題と認識。
コンポスト使用が未熟、市の指導を受けて生ごみを全量自家処理したい。
質問とは無関係ですみませんが、事業所のごみ処理は登録していないと営業許可が出ないというシステムにしてはいかがでしょうか？ 自由記載の欄も次回から設けていただけると有難いです。
ディスポーザーの検討。 戸別は楽かもしれないが、出し方によってはいたずらされる可能性もある。 そして何より、この鎌倉市、山の上の細い道の徒歩でしか行けないようなところも多いのに、戸別は金銭的に無理があるのではないか。町内できちんとしたごみ出しをするように徹底した周知をすること、また生ごみ処理機がディスポーザーの設置を増やすような工夫をする仕掛けを役所側で作る必要がある。
(取り組んでいることではないが、気になっていることとして)自分の地区で、燃やすごみをプラスチックとして捨てているケースがあった。そのようにして有料ごみ袋の使用を避けていると思いたくはないが、今後増えうるケースではないかと思われた。
＊すみません。自由意見を記載するところが、あまりなかったので、少し記載させていただこうと思いました。 戸別収集にするメリットとしては、ステーションの清掃、設置等が特定の人に偏らないようにするということだと思いますが、戸別収集を実施した場合に係る費用を、市で負担し、地域でステーションを管理している人に報酬のような形で提供しては、どうでしょうか？ 日本の場合、道路が狭いこと、また鎌倉はカラス等の害が予想されること、また、場所によってはごみ箱の設置場所は通行のじゃまになったりすることが考えられます。 また、もし自宅前に不法投棄された場合、家の前に放置しておくこともできないと思うので、その家の人が負担するようになるのでしょうか？ この問題をクリアにしておかないと、そのまま放置され、環境が悪くなるか、苦情の原因等になると思われます。 また、時々七里ヶ浜駅に、朝、家庭ごみと思われるごみを捨てている人を見受けます。

公共のごみ箱に防犯カメラを設置する等も一案かもしれません。場合によっては罰金徴収。 ただし、こちらもカメラの設置、モニタリングに費用がかかるので、難しいかと思います。 こういったことの無いよう、広報等で繰り返しマナーを呼びかけるのが一案でしょうか。
フリーオピニオンの欄がありませんでしたので、一項だけ。 「もったいない」は、資源、資金、そして情報の伝達度合いについて推進すべき概念だと思います。 情報伝達でも欲深く「これでもか」というほどの度合いや人数拡大を目指すべきです。 ただ一回、情報発信をしただけではもったいないのです。 花王の環境関係の人に聞いたのですが、詰め替え容器の定着に 10 年も掛かったのだそうです。結果論ですが、なにも説明無く新しい方式として詰め替え容器システムを上梓しただけの期間が長かったと思います。今では、詰め替え容器に目的説明や効果が印刷されています。 また、別の例として神戸大学石川先生たちの「減装ショッピング」は、店頭での解りやすい比較広告などの効果的な情報伝達が成功の一因だと思います。 当市のゴミ有料化でも、もっと目的説明や 6 ヶ月程度毎の効果測定結果公表など、市民が意識するような情報伝達を繰り返し実施すべきだと思います。ただ有料化しただけではもったいない！ 速報からもそれが不足していることが伺えます。
※このアンケートは質問 3 の 9 に代表されるように「有料化によりごみの量は減った」という結論に誘導しようとしているものであり、公正なアンケートではありません。データの公表・利用には反対です。アンケートを中止すべきです。 例えば、質問 6 に「かえって面倒になる」という否定的な選択肢が用意されていないのが致命的です。 なお質問 3 の 1 で「関心を持たなくなった」と回答したのは、有料化以前は「何とかしてごみの減量化に貢献しなければ」と必死に心がけていたのに、「処理してもらうお金をちゃんと払うのだから、もう気遣いは必要はない」と変わった、ということです。行政が性悪説に立つなら、性善説を放棄する市民もいるということを行政は理解すべきです。
私はマンション住まいです。回答者がマンションか一戸建てによって回答が変わってくるのではないでしょうか。冒頭でどちらなのかを確認しておく必要があります。
地域周辺を見ても、生ごみの量は減ったと思いました。
戸別収集と有料化の組み合わせにより、今まで妻だけだった家庭ごみに対する意識が家族全員に飛躍的に高まりました。 近所との会話の中でもごみの減らし方等の話も出るようになりました。市全体に拡大させていくことにより、社会全体としてのごみ問題への問題意識が高まる効果があるように思います。
クリーンステーションを見て出し方について研究するようになった。また他人の出し方について注意してあげるようになった。
おむつの無料はありがたいです。

【資源循環課から】
　ごみ減量のために様々な取り組みをしていただいているとともに、ごみ問題に多くの関心をいただきありがとうございました。
　いただいたご意見を踏まえて今後のごみ処理行政に反映していきたいと考えています。

●質問3-7ごみを空き地や道路などに不法投棄する人について

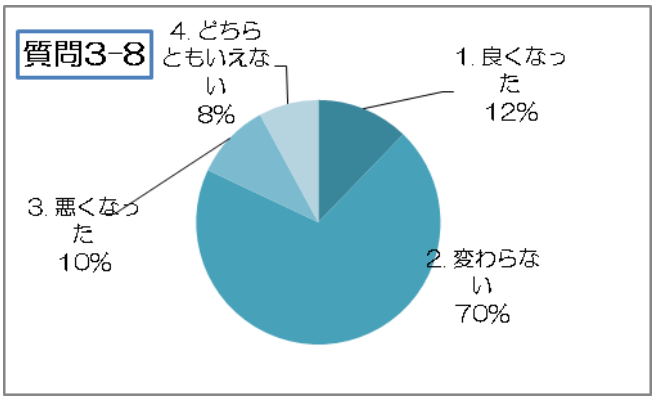
1. 増えたと思う	27 名
2. 変わらない	61 名
3. 減ったと思う	1 名
4. わからない	50 名



【資源循環課から】
　ごみを捨てられやすい場所には、啓発用の看板の設置等を行っていますが、ごみが捨てられている場合には資源循環課までご連絡いただければ個別に対応してまいります。

●質問3-8　クリーンステーション（ごみ置き場）の環境について

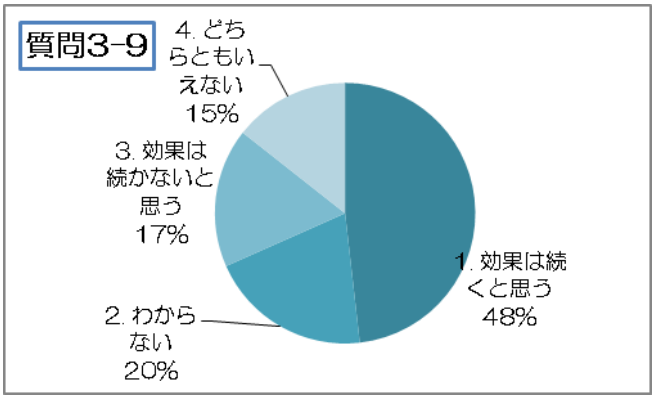
1. 良くなった	17 名
2. 変わらない	97 名
3. 悪くなった	14 名
4. どちらともいえない	11 名



【資源循環課から】
　ごみの排出状況の悪いクリーンステーションでは、市でもこれまで巡回・早朝のクリーンステーションでの周知・周知用看板の設置等の対応を行ってまいりました。
　クリーンステーションを良好な状態に維持するためには、使用している方々のご協力も不可欠ですのでご協力をお願いします。
　排出状況が悪い場合には、資源循環課までご連絡いただければ地域の皆さんとご相談の上個別に対応してまいります。

●質問3-9　有料化によるごみの減量効果は今後も続くと思いますか？

1. 効果は続くと思う	67 名
2. わからない	28 名
3. 効果は続かないと思う	24 名
4. どちらともいえない	20 名

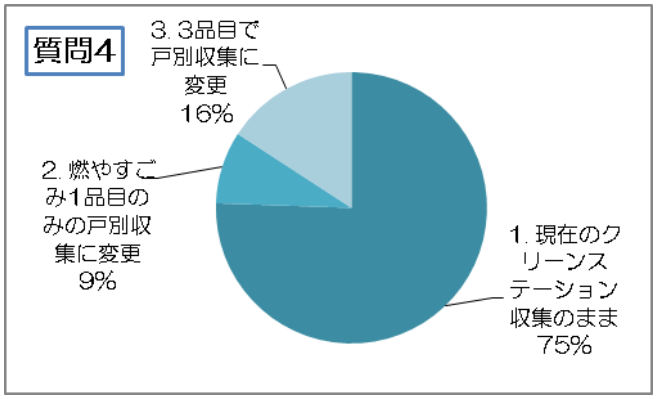


【資源循環課から】
　有料化はごみ出しのご負担いただくことにより、ごみ減量への意識を高めていただく制度ですが、今回の調査によりその効果が続くと感じていただいている方が多くいることが分かりました。
　市としても減量効果を継続するために市民の皆様への周知を継続することが重要であると考えています。

【戸別収集について】

●質問4　添付資料の説明をふまえ、戸別収集の全市実施についてお聞きします。

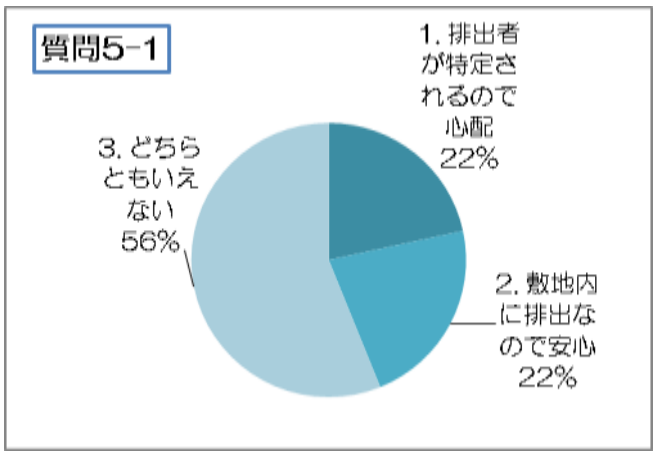
1. 現在のクリーンステーション収集のままでよい	105 名
2. 燃やすごみ 1 品目のみの戸別収集に変更するのがよい	12 名
3. 燃やすごみ・燃えないごみ・容器包装プラスチックの 3 品目で戸別収集に変更するのがよい	22 名



【資源循環課から】
　おととし戸別収集・有料化の同時実施を目指してパブリックコメントを実施した際も戸別収集に反対するご意見が今回と同じ割合でありました。現状のクリーンステーション収集で特に問題がないと考えている方が多いということが分かりました。
　一方、戸別収集は実施前には反対の声があるが実施してみると賛成する意見が多くなるとも聞いています。

●質問5-1　戸別収集にあたって懸念されることについて、伺います。
戸別収集によるプライバシーについて

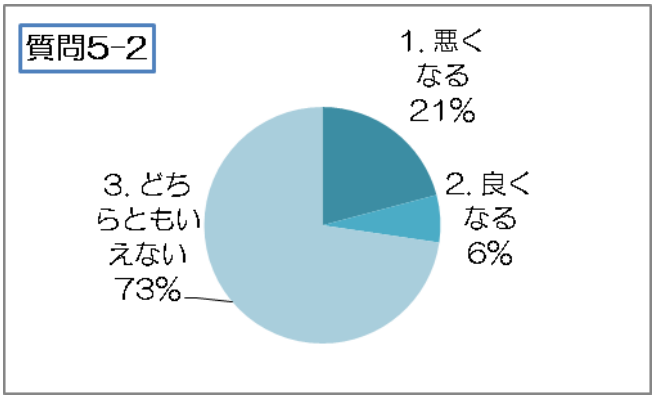
1. 排出者が特定されるので心配	30 名
2. 敷地内に排出なので安心	31 名
3. どちらともいえない	78 名



【資源循環課から】
　どちらともいえない方が多いのですが、プライバシーについて心配と感じている方と安心と感じている方が同じ割合でいらっしゃり、捉え方により様々な感じ方があるようです。

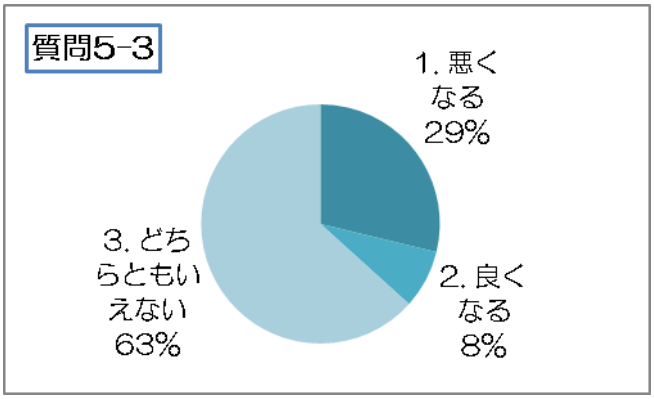
●質問5-2　地域のコミュニケーションへの影響について

1. 悪くなる	29 名
2. 良くなる	9 名
3. どちらともいえない	101 名



●質問5-3　防犯面について

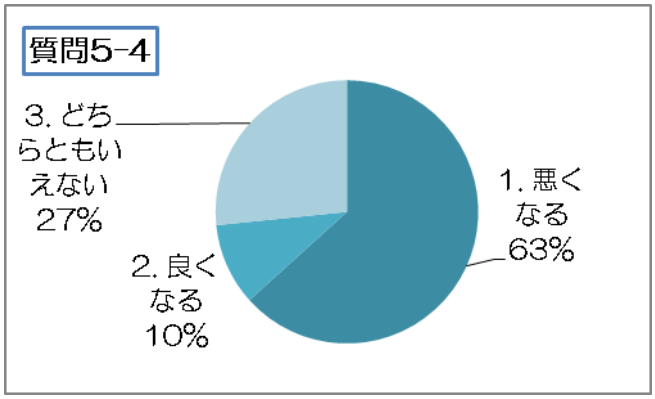
1. 悪くなる	40 名
2. 良くなる	11 名
3. どちらともいえない	88 名



【資源循環課から】
　悪くなるという方もいらっしゃりますが、どちらともいえないという方が圧倒的に多く、地域のコミュニケーションへの影響や防犯面については戸別収集を実施してみないと判断しにくいのかもしれません。

●質問5-4　景観について

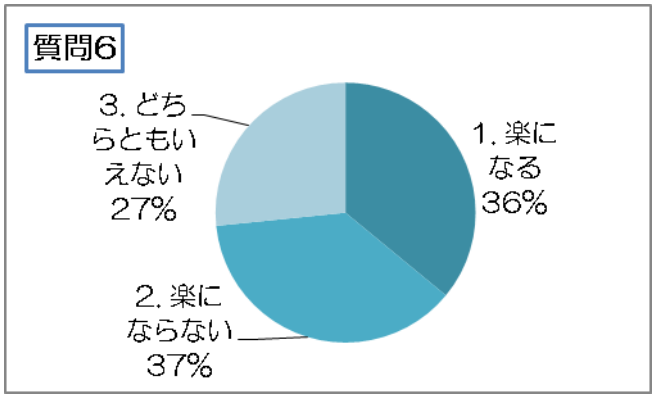
1. 悪くなる	88 名
2. 良くなる	14 名
3. どちらともいえない	37 名



【資源循環課から】
　戸別収集を実施する際に懸念される４つの事項についてご意見を伺いましたが、景観について懸念される方が圧倒的に多く、自宅の前にごみを出すことへの景観面への懸念が予想以上に大きいと感じました。
　平成２６年１月に戸別収集を実施いただいているモデル地区の方を対象にアンケート調査を行い、プライバシー、地域のコミュニケーション、防犯面、景観面について同様に質問しましたが、問題ないとの意見が多くあり、今回の回答とは異なったものとなっています。

●質問6　戸別収集により、ごみ出しは楽になると思いますか？

1. 楽になる	50 名
2. 楽にならない	52 名
3. どちらともいえない	37 名



【資源循環課から】
　戸別収集のメリットとしては自宅の前にごみを出すことが出来るので、ごみ出しが楽になることが上げられますが、楽になるとの意見とならないとの意見がほぼ同数となっており、この結果も現在のクリーンステーション収集に問題がないとの意見の表れと言えると考えています。

　戸別収集については、収集コストの削減とともに、有料化実施後の約６カ月間、ごみの減量効果とごみ質の組成変化、クリーンステーションの収集環境の状況、戸別収集に関する市民アンケートの調査結果（戸別収集モデル地区、モデル地区以外、ｅ-モニター）等の検証を行い、実施について判断することとしています。
　今回いただいたご意見についても、今後の検証の参考とさせて頂きたいと考えております。
　今後ともごみの減量にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。
　アンケートにご協力いただきありがとうございました。

【お問い合わせ先】
鎌倉市　経営企画部　秘書広報課　広報広聴担当
〒248-8686　鎌倉市御成町 18 番 10 号
TEL 0467（23）3000　内線 2505
FAX 0467（23）6505
e-mail：emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp